

■ トップメッセージ

エフコムはサステナブルな社会の発展に貢献してまいります。



2016年10月
株式会社エフコム
代表取締役社長兼COO

瓜生利典

私どもエフコムは、次代に向けて環境負荷の低減を図るべく「環境マネジメントシステム (ISO14001)」を推進しております。地球温暖化防止への活動を始め、環境保全、地域社会の安全など、社会貢献活動を継続的かつ積極的に取り組んでいるところです。

この度、富士通研究所様と共同で推進しました「郡山市下水道氾濫検知」の実証実験では、センシング技術により下水道氾濫の兆候を検知しゲリラ豪雨への施設整備対策等に寄与できることが検証されました。このようなIoTの先端技術により、環境との共生が図れる新たなソリューションが、これからもICTで実現されてまいります。当社は、そのような社会ニーズを捉え、新たな技術の習得とサービスの構築に、研鑽し尽力してまいります。

当社が保有しますデータセンターは、お客様の事業継続はもとより、省エネルギー化に貢献できる施設です。特に、2014年秋にオープンしました福島データセンターは、太陽光発電や外気による冷却システムの導入など、自然エネルギーの活用を行い環境に配慮した施設である

とともに、セーフティかつセキュアな対策が施されています。お客様の大切な情報をお預かりするうえで、高水準なセキュリティ対策は不可欠であり、情報漏えいや不正侵入などが起きないように、ソフト・ハード両面で設備と体制を整えております。また、BCP（事業継続計画）への訓練にも力を注ぎ、有事の際に迅速な対応ができる体制を構築しています。お客様への安心と満足を使命とし、愚直に取り組んでまいります。

2016年6月、会津磐梯山の麓に山林を取得し「エフコムの森」と名付けました。森林の保全に取り組むことを通して、当社の社員や家族が気軽に自然と触れ合える場に、そして自然や生物との共生を体験できる場になるように育んでいきたいと思っております。

これらの活動を通して、「サステナブル（持続可能）な社会」の発展に貢献するため、より一層の社会的責任を果たしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。